

インターネット(デジタル化)・大学全入 時代の閲覧サービス ー広島修道大学図書館の取り組みー

広島修道大学図書館
図書課長 吉村 達裕

1

0. 大学と図書館の概要

- 0-1. 広島修道大学の概要
広島市内にある私立の人文社会科学系大学
商学部、人文学部、法学部、経済学部、人間環境学部
法科大学院
学生数 約6,400名
専任教員数 177名
- 0-2. 広島修道大学図書館の概要
年間開館日数 305日
職員数 専任11名 非常勤14名
蔵書冊数 約72万冊
入館者数 約26万人
貸出冊数 約4.5万冊(学生一人当たり5.2冊)
資料費 約1.7億円
学外利用者 約1,600名

2

1. 資料提供について、閲覧サービスに 生じてきた変化(1)

- 1-1. 資料のデジタル化がもたらしたもの
- e-journalの本格導入(2007年度～)とILLIに生じた変化

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
e-journal数(有料)	60	462	1,135	4,775
文献複写依頼件数	959	489	477	?

- 学外からのe-journal・データベースの利用促進のため
リモートアクセス(VPN)を導入(2008年度～)
- e-journal・データベースの利用促進のためSFX(リンク
リゾルバ)を導入(2009年度～)

3

1. 資料提供について、閲覧サービスに 生じてきた変化(2)

- 1-2. 図書館ポータル(図書システム)がもたら
したもの(2006年度～)
- 貸出、返却、予約、延長、延滞図書の督促、購入希望申込、
文献複写依頼等のシステム化(図書システム)
- 貸出照会、予約、延長、購入希望申込、文献複写依頼は、
カウンターでの手続が省略され、学外からの利用が可能。
(図書館ポータル)
- よりきめ細かいカウンター対応が期待できる

4

1. 資料提供について、閲覧サービスに 生じてきた変化(3)

- 1-3. 機関リポジトリやデジタルアーカイブに
よる資料の提供
- 1-4. 学生が求める資料の変化への対応
- 学術書に加えて一般書や小説、児童書、DVD(アニメやテレビ
ドラマ)の購入希望の増加
- 学生によるカタログ選書に加えて、ブックハンティングの実施
(2007年度～)

5

2. 求められる快適な学習環境の整備(1)

- 2-1. 館内パソコンやネットワーク機器の更
新(2007年度～)
- パソコンやネットワーク機器の陳腐化による学生からのク
レームに対応
- 2-2. 無線LAN・オンデマンドプリンタの設置
(2007年度～)
- 新カリキュラム導入に伴うパソコンの必携化対応

6

2. 求められる快適な学習環境の整備(2)

- 2-3. 利用マナーに対するクレーム
- 必要に迫られた利用者の棲み分け
- 図書館3Fカウンターに館員を再配置・巡回を開始(2007年度後期～)
- 3Fは学生同士で牽制しあう、静かな環境に
- 2Fパソコンコーナーは、多少のざわつきは許す空間に
- 1F自由閲覧室は、試験期間には時として無法地帯に

7

2. 求められる快適な学習環境の整備(3)

- 2-4. 必要なラーニング・コモンズ機能
 - いつも混み合っているグループ学習室や研究個室
 - 図書館内で飲食(お菓子やペットボトルの持込)する学生
 - パソコンを囲んで、仲間で話し合いながら学習する学生
 - 入館者数の増加(2008年度は過去最大)の割には貸出冊数は伸び悩み
- | | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 |
|------|---------|---------|-------------|
| 入館者数 | 213,306 | 228,517 | 255,228 (人) |
| 貸出冊数 | 48,809 | 44,490 | 44,972 (冊) |
- 学生の利用の変化 → 学生の新しい学習スタイルへの対応が求められる。

8

3. 学習支援の必要性(1)

- 3-1. レファレンス現場における変化
- レファレンスカウンターに来るよりも、インターネットで調べ物をする学生
- なんとなく調べものが済んでいる状況
- データベースや参考図書は、はたして効果的に使われているのか?
- 学生は実はレポート作成がわからず苦勞している。
- 図書館としての対応は? 学習支援センターにつながだけでいいのか?

9

3. 学習支援の必要性(2)

- 3-2. パソコン相談員の配置
- 学生の図書館への質問の半分近くは、パソコンやプリンターの利用に関すること
- 専門家に外部委託(7月・1月は試験期対応(2005年度～)、4月は新入生や履修登録対応(2007年度～))
- 3-3. ピア・サポートの開始(2009年度～)
- ピア(仲間)学生(大学院生、学部3・4年生)による利用相談。図書館員目線から学生目線での利用相談(ピア学生は、同世代の利用者に、意外と厳しい目を向ける傾向がある。)

10

4. 教育機能の強化(1)

- 4-1. 初年次教育科目への対応
1年生全員(約1,500名)に実施する、必修の初年次教育科目(ファーストイヤー・セミナーⅠ)の1コマ(90分)を図書館が担当 25名平均の少人数クラスで実施(2007年度～)
- 内容 教室内(45分)
利用案内、分類と請求記号、OPAC 実習、ポータルサービスの利用方法、著作権、利用マナー
図書館ツアー(45分)
アルバイト学生に全面的に依頼

11

4. 教育機能の強化(2)

- 課題 課題の提出が必須
 - 採点 評価の基礎となる採点の採点を、図書館員が行い、科目担当教員に提出
 - 4-2. 文献検索ガイダンス
ゼミの時間を利用した上級生(2～4年生)向けのガイダンス
 - 減少する文献検索ガイダンスの参加人数
- | | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 |
|------|--------|--------|---------|
| 参加人数 | 1,683 | 1,295 | 448 (人) |
- 就職活動の長期化によるゼミ参加者の減少

12

5. まとめ(1)

- 5-1. 資料のデジタル化、学生が求める資料や学習スタイルの変化によって、閲覧サービスは変化を余儀なくされる。

しかし、図書館の資源(ひと、もの、かね)は限られている。

13

5. まとめ(2)

- 5-2. 資料のデジタル化や図書館ポータルを導入によって生じる余力を、どこへ振り向けるのか。
 - ①機関リポジトリやデジタルアーカイブなどの情報発信
 - ②学習支援や教育機能の強化
- 広島修道大学図書館では、②学習支援や教育機能の強化という形に展開していったが、どの方向を選択するかは、各図書館の判断と政策によるのであろう。

14

閲覧サービスの内容	図書館内		大学内		大学外	
	媒体	提供方法	媒体	提供方法	提供方法	提供方法
図書		人又は図書システム(ポータル) (貸出・返却・督促・予約・延長・ 購入希望・ILL)	e-Book	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	
参考図書		館内閲覧	各種DB	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	
雑誌		コピー	e-Journal	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	
新聞		ILL	各種DB	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	
マイクロフィルム		コピー				
AV資料		ILL				
		マイクロ印刷機				
		モニター・DVD再生装置				
			機関リポジトリ	インターネット・PC	インターネット・PC	インターネット・PC
			デジタルアーカイブの公開	インターネット・PC	インターネット・PC	インターネット・PC
学習環境の提供	グループ学習室 研究個室 パソコン・コーナー 貸出用パソコン 無線LAN ラーニング・コモンス 夜間・土日開館(試験期の祝日開館) マナー問題への対応		無線LAN ラーニング・コモンス			
学習支援の提供	レファレンス現場における変化 パソコン相談員 ピア・サポート 文献検索ガイド パスファインダー		各種DB 文献検索ガイドの公開 パスファインダーの公開	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	インターネット・PC インターネット・PC
教育の提供	初年次教育への対応 文献検索ガイダンス(教員のゼミの時間を利用)		e-learning	インターネット・PC	リモートアクセス(VPN)	リモートアクセス(VPN)